

**資料5**

# 安全点検（先行調査の実施）について

1. 地下街の天井形状の事例
2. 点検項目の設定
3. 先行調査の位置付け
4. 点検箇所の設定
5. 地下街の安全点検の実施手順

# 1. 地下街の天井形状の事例(1)

## ◆天井版に覆われた天井の事例



# 1. 地下街の天井形状の事例 (2)

◆ルーバーやメッシュに  
覆われた天井の事例



# 1. 地下街の天井形状の事例 (3)

## ◆天井中が剥き出しの天井の事例

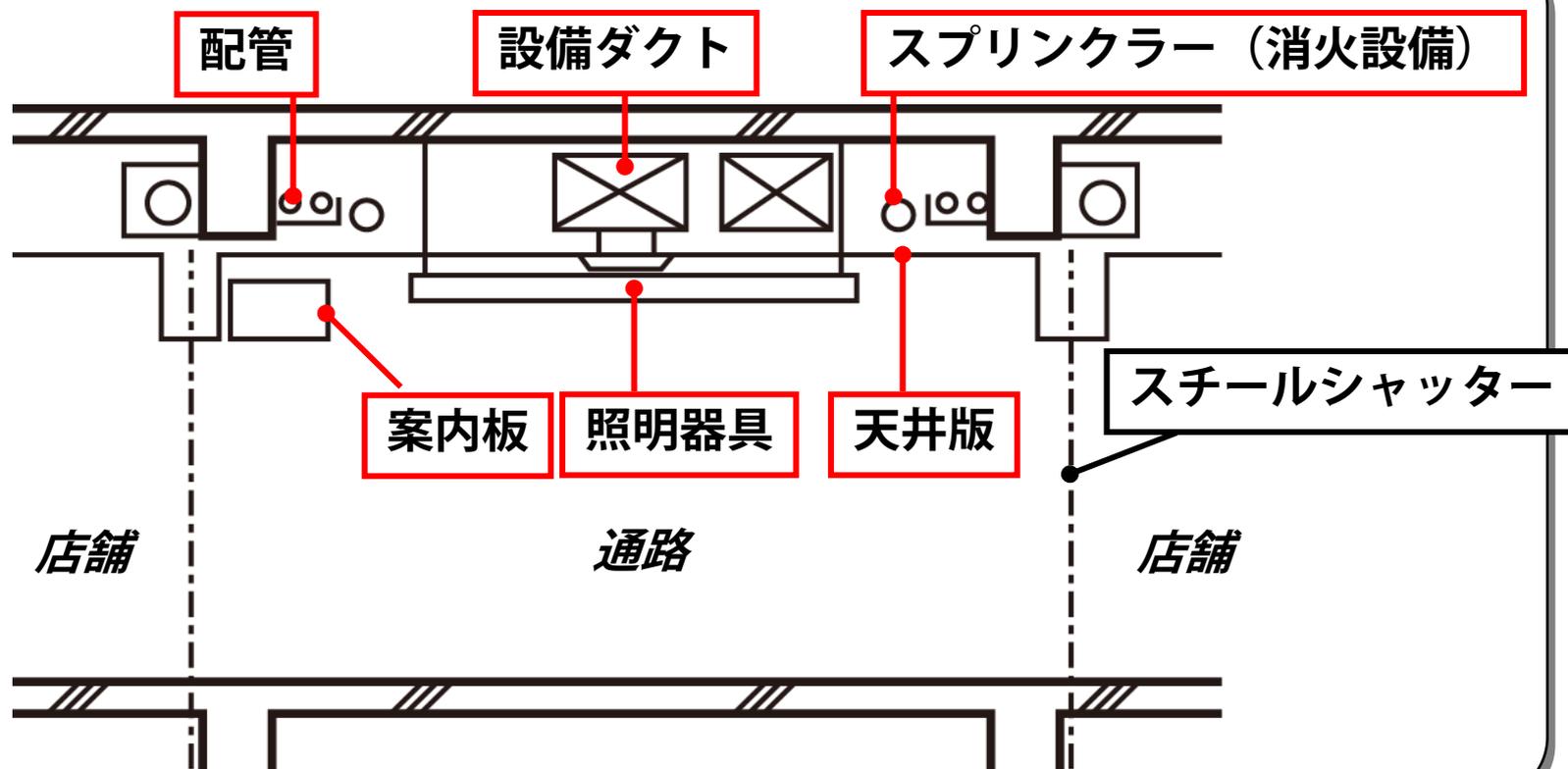


## 2. 点検項目の設定

### 地下街通路の天井部

主な二次部材、設備は、一般的に断面図のとおり。

(この部材や設備のなかから、点検口等より目視可能なものを先行調査で確認しながら、最終的な点検箇所設定方法、点検項目について、第2回委員会で提示予定)

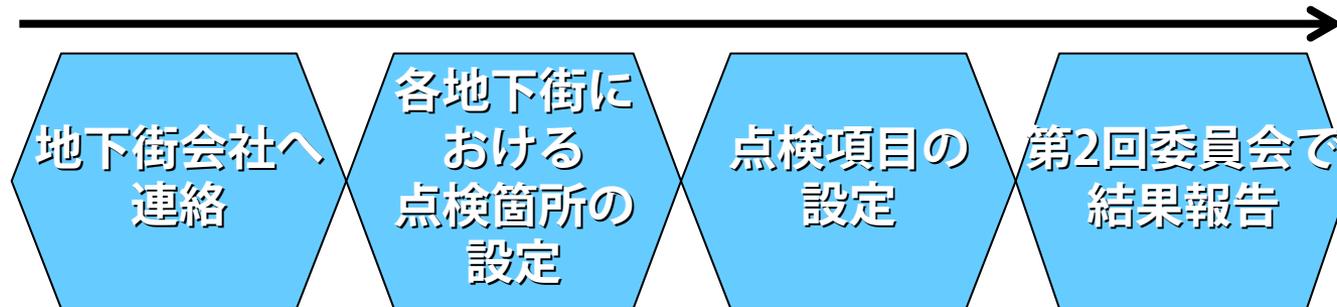


### 3. 先行調査の位置付け

#### 先行調査の目的

全地下街に適用できる安全点検の実施方法を構築するために、様々なタイプの天井を有する地下街等を対象にあらかじめ調査を行い、安全点検における課題を抽出するとともに点検すべきポイントを精査する。

#### 先行調査フロー



#### 先行調査を実施する地下街を2つの視点から数カ所選ぶ

##### ◆3大都市圏から主要な地下街を各1カ所

⇒天井形状のバリエーションが多様

##### ◆建設年次が古い地下街

⇒図面がない等、情報不足の地下街に対する調査方法の確認

## 4. 点検箇所の設定

「安全避難」の視点より、次の手順により、点検箇所を設定する。

※点検口、ルーバーなどを基本とする。

※現地の状況、地下街会社側の指示等により、変更を行う場合がある。

- ① 天井板の種類が異なる通路ごとにゾーンを区分  
(一つの地下街でゾーン別に天井板種類(デザイン等)を変えているところが多い)
- ② ゾーンごとに、「天井、ダクト、照明、サイン等の吊り材等が確認しやすい点検口」を、地下街会社と立ち会い設定
- ③ 歩行者交通量の多い通路、及び主要な通路が交差し人の集中しやすい広場部分にある点検口を調査する。  
(地下街会社へのヒアリング及び先行調査をふまえて選定)



調査イメージ写真

※補足) 日常点検等から、地下街会社が注目している状況を確認できる点検口を優先的に確認する。

# 5. 地下街の安全点検の実施手順

## 実地調査（安全点検）の方法の検討

### 【地下街会社への事前ヒアリング】

7月より順次実施

- ・定期点検の実施状況及び改修の有無
- ・竣工図面や改修図面の確認
- ・避難訓練の実施状況
- ・その他不具合に関する情報や履歴の確認

等

### 【先行調査】 7月

重点的に点検する箇所を指定し、以下の点検項目について点検口から点検調査を実施

- ・天井版、ダクト等の吊り金具、照明器具、消火設備、案内板の設置状況
- ・クラック有無等のコンクリート等の状況確認
- ・漏水の有無の確認
- ・点検項目と記録書式を定め、確実な点検と記録作成を行う。
- ・写真撮影による記録を併用

等

### 【委員会で検討】 第2回（7月下旬～8月上旬）

- ・点検項目等の助言、確認

### 【全国調査】（速やかに実施）

- ・点検項目に基づき、全地下街を点検

### 【取りまとめ】

- ・実地調査のまとめ、報告